



PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ



インスピレーションになるう

ロータリアンの皆さま

今からもう 30 年以上も前の 6 月上旬のある日、私はラスベガスに出張することになっていました。ロータリーに入会して 6 年目ぐらいで、例会には欠かさず出席し、クラブ幹事を務め、クラブの間とは皆知り合い。私としては熱心に活動しているつもりでした。しかし当時の私にとって、ロータリーはあくまでも地域の団体でした。ナッソーや、バハマ全土にもつなげてくれるかもしれないけれども、せいぜいそこ止まり。

バハマより外のロータリーの世界についてはあまり考えたことはなく、国際大会に出掛けていこうなどとは思いませんでした。ところがその年の春、ラスベガスへの出張がロータリー国際大会と同時期であることに気づいた私は「行ってみるか」と思ったのです。この経験が人生を変えることになるなどとはつゆ知らず、登録して登録費を支払いました。

国際大会の会場に足を踏み入ると、私は驚いて息をのみました。自分は全世界 100 万人以上の会員を擁するグローバルな団体の一員だとは知ってはいましたが、その真ただ中になると、まさに圧巻でした。全ての本会議に出席し、友愛の家ではそれぞれのブースを訪れ、ロータリーでそんなことができるとは知りもしなかったようなプロジェクトについて学びました。この大会は私の目を開いてくれただけでなく、心を広げてくれました。ロータリーに対する見方、ロータリーが私のためにできること、そして私がロータリーを通じてできることについて、考え方をすっかり変えてくれました。この時受けたインスピレーションが今でもずっと残っています。そして毎年国際大会に参加するたびに、新たなインスピレーションを得ています。

2019 年 6 月、世界中のロータリアンがハンブルグに集結し、第 110 回ロータリー国際大会で一生の思い出をつくります。私のように、もう何年も国際大会に参加している人もいれば、初めて参加する人もいることでしょう。古くからの知己と旧交を温めたい人も、新しいロータリー年度に向けてインスピレーションを探している人も、ただロータリーについて見に来たという人も、ハンブルグで答えが見つかるでしょう。

ハンブルグはドイツを世界に結びつける港町で、何世紀も前から経済、文化の中心地です。湖畔を散策したり、エルベ川で川下りをしたり、ディナーを楽しんだり、音楽を鑑賞したり、魅力的な博物館を訪れたり、観光には最適の街です。また、ヨーロッパ旅行のスタート地点としても理想的です。

毎年国際大会に参加している人なら、ハンブルグで友情とインスピレーションを見つけるチャンスを決して逃したくはないはずです。国際大会に参加したことがない人は、この会長メッセージを私からの個人的な招待状だと思ってください。12 月 15 日までに riconvention.org で登録すれば、早期割引が適用されます。この国際大会が、皆さまのロータリーでの旅路を導くインスピレーションになりますように。

BARRY RASSIN

2018-19 年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーの友 
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

原文 (英語) はこちらから